

令和5年度事業報告書

(期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日)



目 次

※令和5年度社会福祉法人虹の会事業報告については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

社会福祉法人 虹の会

◆総括

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症位置づけが5類へ移行したことに伴い、人や事業所間の交流を再開し、行事や会議・研修などへの参加も積極的に行うことができ、活気が戻る1年となりました。また、新しい役員体制で「共に生きる」の理念のもと「選ばれる法人・選ばれる事業所」を目指した4つの経営戦略と16の重点目標を掲げた、第2期中期経営計画の最終年度としての取り組みを進めてきました。評議委員会において概ね高評価を得ました。

「児童から高齢者の方々を対象に全世代型サービスの提供」の方向性へと舵を切った今年度は放課後等デイサービス事業を開始しましたが、利用契約者数が伸びなかつたことや施設整備において入札が2回不落になるなど計画通りに進めることができませんでした。一方で、特定非営利活動法人が運営する「高島・安曇川地域包括支援センター」についてはバックアップ法人としての役割を果たし、令和6年4月に予定通りの事業開始に至りました。

事業活動においては、法人全体で概ね予算通りの収入を得ることができました。しかし、利用者や家族の高齢化による家庭環境の変化等からサービス利用の継続が難しくなるケースが増えていることや、地域において事業所選択の幅が広がっていることなどにより、今後の利用契約者拡大に向けては課題を残しています。「選ばれる法人・選ばれる事業所」に向けた特色ある事業展開と経営基盤の強化については、しっかりと取り組んでいく必要があります。

◆法人経営

1. 役員会等

適切で透明性の高い法人経営を推進するため、経営の決断・執行・監督の充実に努め、以下の役員会等を開催しました。

(1)理事会

回	開催日	議案	可否	理事及び監事の出席率
1回	6月3日	役員報酬総額変更 役員等報酬及び費用弁償規程一部変更 令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)事業報告書、計算関係書類及び財産目録承認 社会福祉充実計画変更 理事及び監事任期満了に伴う候補者推薦 評議員選任・解任委員選任 令和5年度第1回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	100%

2回	6月22日	理事長選定 業務執行理事選定 理事長報酬 評議員選任・解任委員選任	可決 可決 可決 可決	100%
3回	8月22日	グループホーム建設予定地取得 令和5年度補正予算書 ぱれっと新築工事入札参加業者選定 令和5年度第2回評議員会招集	可決 可決 可決 可決	100%
4回	9月25日	嘱託職員就業規則制定 短時間職員就業規則制定 嘱託職員給与等支給規則制定 短時間職員給与等支給規則制定 正職員就業規則一部変更 定年再雇用職員就業規則一部変更 給与等支給規則一部変更 育児休業及び介護休業等に関する規則一部変更 職員出張費支給規則一部変更 職員採用に関する規程一部変更 施設長等選任	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	100%
5回	11月9日	正職員就業規則一部変更 嘱託職員就業規則一部変更 ぱれっと新築工事入札参加業者選定 令和5年度補正予算書 令和5年度第3回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決	88% 1名欠席
6回	12月25日	障害児通所支援事業(児童発達支援)指定申請 管理職選任	可決 可決	88% 1名欠席
7回	3月16日	経理規程一部変更 正職員就業規則一部変更 正職員給与等支給規則一部変更 嘱託職員給与等支給規則一部変更 短時間職員給与等支給規則一部変更 令和5年度補正予算書 第3期中期経営計画 令和6年度事業計画 令和6年度収支予算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) 令和5年度第4回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	100%

◎決議の省略

※理事会の決議があったものとみなされた日

令和6年1月24日

※理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第34号議案 会社役員賠償責任保険加入

◎理事懇談会

8月30日に第3期中期経営計画の策定に向け、理事懇談会を開催しました。

◎施設見学会

11月22日に理事および監事の希望者に対して以下の施設見学を実施しました。

施設長および現場担当者から利用者の作業や活動内容を見学しながら説明を受けました。

見学施設:高島市障がい者相談支援センターコンパス(GHさかえ荘経由)、

ドリーム・だんだん ドリーム・あんです(GHよこまち経由)、

高島市民病院売店・coccoたかしま(昼食含む)、大地、アイリス・マーブル、
といろ、ハーモニー・わになろう・ぱれっと

◎関連当事者間の取引

※当法人は、社会福祉法人会計基準により公表すべき関連当事者間の取引はありません。

(2)評議員会

回	開催日	議案	可否	評議員出席率
1回	6月22日	役員報酬総額変更 役員等報酬及び費用弁償規程一部変更 令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) 事業報告書、計算書類(貸借対照表及び収支計算書) 及び財産目録承認 社会福祉充実計画変更 理事及び監事任期満了に伴う選任	可決 可決 可決 可決 可決	88% 1名欠席
2回	8月31日	令和5年度補正予算書	可決	88% 1名欠席
3回	11月24日	令和5年度補正予算書	可決	62.5% 3名欠席
4回	3月27日	令和5年度補正予算書 第3期中期経営計画 令和6年度事業計画 令和6年度収支予算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)	可決 可決 可決 可決	100%

2. 監事監査

事業および会計の執行を監査し、その結果を報告及び公表することにより、法人の健全かつ透明性の高い運営に資することを目的に監事による監査を実施しました。

回	開催日	議題	監査意見
1回	5月24日	令和4年度事業報告・計算関係書類及び財産目録の監査	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。 ・計算関係書類及び財産目録については法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。
2回	10月26日	令和5年度事業中間報告等・会計状況等の監査	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。 ・計算関係書類及び財産目録については法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。

令和5年度口頭指示および改善報告

口頭指示	改善報告
公用車が60台を越えており、安全運行上、規程を整備し一括管理を検討されたい。	公用車を管理するため、車両購入ルール案を運営委員会に提案し検討しています。
総勘定元帳に「職員預り金」科目が抜けていたので見落としのないよう注意されたい。	科目の見落としが無いよう、担当者・事務センター・決裁者と複数の目で確認します。
アイリスの400万円請負工事で他社からの見積もりが徴収されていなかったので、適正に価格を判断するためにも今後経理規程第75条第4項に基づいて執行されたい。	随意契約について、経理規程第75条第4項に基づき適正に見積もり徴収します。
虹とといろの普通預金が一緒の通帳になっているため、事務処理に時間を要することも予見されるので、別々にすることを検討されたい。	通帳の取り扱いについて、顧問会計事務所に相談して対応について検討しています。
事業報告の中で誤字脱字が少なくなるよう、複数の目でチェックしてほしい。	誤字脱字等について、担当者・事務センター・決裁者と複数の目で確認します。
稟議書の一部に決裁日の記入漏れがあったので注意してほしい。	記入漏れについて、担当者・事務センター・決裁者と複数の目で確認します。

登記完了後の登記簿(写)を稟議書に添付すると完了したことが明確になる。	登記完了後の登記簿(写)を稟議書に添付する手順を事務センターで共有しました。
電磁的記録の利用について検討されたい。	電磁的記録の一部である会計帳簿について、会計顧問と電子帳簿保存導入の協議を開始しました。
利用者からの預かり金について定期的(月一回以上)利用者(家族)へ周知報告。来所されない保護者へは郵便扱いにて送付されたい。	利用者(家族)へは月初に必ず確認、後見人には月1回来所してもらい、管理表の確認等を行いました。郵送の必要はありませんでした。
職員の安否確認システムの導入を検討されたい。	BCP(事業継続計画)の作成にあたり、職員の収集基準及び安否確認について検討しました。システムの導入については次年度以降さらなる検討が必要です。
避難訓練(夜間)を実行性のあるものとされたい。	令和6年3月、いろいろにて夜間の避難訓練を実施しました。
収益事業について、定款第7章に掲げていることから毎年事業計画に明記すること。	令和6年度事業計画の組織図に収益事業「アーカス」を明記しました。
賃貸物件について、契約書にリスク分担の明示はあるが敷金を徴収していないことから契約終了時に修繕経費のリスクがある。	今後契約を締結する際、賃貸物件の契約書に敷金を徴収するよう明記します。
収益事業に供する施設(アーカス)の財産については定款に記されないことから、別途詳細な台帳管理に努めること。	収益事業財産管理簿を作成しました。

◆各種会議および委員会活動

1. 各種会議

法人の経営方針その他経営に関する事項および人事・人事評価・給与等を協議するため、また各拠点間連携をスムーズに図り事業を推進するため、情報共有・現状把握・課題検討等を以下 の会議で実施しました。

会議名	回数
運営委員会	22回
人事給与等委員会	6回
管理職会	14回

※理事長職務執行状況および業務執行理事職務執行状況参照

2. 委員会活動

(1)コンプライアンス委員会

回数	目的	経過及び成果
2回	コンプライアンスを推進するための方策、コンプライアンス違反行為に対する対応策及び再発防止、コンプライアンス意識の高揚を図るための研修等を実施する。	計画通り委員会を2回開催しコンプライアンス違反のリスク等について現状把握しました。管理職向けにコンプライアンスチェックシートを実施し、結果の共有と対応等について情報交換しました。また、コンプライアンス研修については、管理職及び主任向けに「現代管理職のモノの言い方」をテーマに実施、一般職に対しては県の実施指導を共有しました。

(2)個人情報管理委員会

回数	目的	経過及び成果
1回	利用者及び職員等の個人情報の管理を適切に行うための計画立案、指示、セキュリティ対策等の必要な取り組みを行う。	コンプライアンスチェックシートにおいて、個人情報管理について、管理職が事業所内の取り扱い状況について確認し、全ての事業所が適切に管理されているとの報告を受けました。IT顧問藤井氏により「個人情報保護法」に基づく業務遂行について全職員対象の研修会を行いました。生成AI(ChatGPT)の仕組みについても触れてもらい情報流出リスクについて学びました。

(3)リスクマネジメント委員会

回数	目的	経過及び成果
----	----	--------

3回	リスク管理に関し、体制及び規程を整備し、利用者の安心・安全を確保すると共に、事故防止対策等を構築する。危機管理体制としてBCPの管理・運営・見直しを定期的に実施する。	自立支援協議会で実施されたBCP作成研修への参加を通して、各事業所の災害時業務継続計画(BCP)を作成しました。平時の備えのチェックシートを活用し、災害時への備えの点検を各事業所で行いました。また、災害時伝言ダイヤルが解放されている期間に合わせて周知を行い、職員が体験する機会を設けました。
----	-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4)虐待防止委員会

回数	目的	経過及び成果
6回	事業所内における虐待防止を図るために、職員の虐待防止意識の向上や虐待防止の取り組みを実施、虐待のない施設環境づくりを目指す。	虐待防止の研修として、委員のメンバーで体感型のロールプレイを作成し、全職員に研修を実施しました。また、虐待防止チェックリストについては捉え方が様々であったため、項目ごとに解説を加えながら、チェックする機会を設けました。黄色ファイル(個人持ちのファイル)については情報量が多いことから、事業所用(備え付け)のファイルと分け、整理を行いました。

(5)中期経営計画委員会(策定・評価)

回数	目的	経過及び成果
7回 (プロジェクト会議含む)	安定した法人経営を継続するため、第2期中期経営計画を評価し、第3期中期経営計画を策定する。	職員とともに中期経営計画を策定していくことを念頭に、若手中心と主任中心のプロジェクト会議を立ち上げ、SWOT分析を行いました。策定委員会で分析結果を共有し計画の骨子を策定しました。また、原案に対しパブリックコメントを職員・利用者・家族から募集し、第3期中期経営計画の最終原案を策定しました。 第2期中期経営計画の評価委員会を開催し、令和5年度上半期の取り組みを評価しました。第2期中期経営計画の最終評価は令和6年度4月に実施予定です。

(6)実習生受け入れプロジェクト

回数	目的	経過及び成果
----	----	--------

4回	広く福祉人材の育成に資することにより、法人のブランディングおよび採用活動を推進する。	既存の受け入れマニュアルの見直しについて上期に検討メンバーと見直しを行いました。秋からの実習受け入れ時にマニュアルが機能するか確認しました。実習依頼先からも実習内容について好評なことからマニュアルが機能していることを確認することができました。
----	--------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(7) 実践報告プロジェクト

回数	目的	経過及び成果
4回	事例を通し学びを深め、取り組んだ実践を法人内外に向けて報告、学びによる支援のプロ集団化を目指す。	4月に説明会を行い、事業所ごとに取り組みをスタートさせました。また、プロジェクト委員を選出し準備を行いました。結果、2月9日に報告会を開催することができました。今後は継続して取り組みを行うために課題の洗い出しを行い、次年度に向けての準備をしていきます。

(8) 地域貢献プロジェクト

回数	目的	経過及び成果
1回	法人の地域貢献の方向性の検討、必要とされる取り組みの企画、共生社会づくりに寄与できるような先進的な実践を行う。	北部拠点としてドリームに「虹カフェ」を設置し、令和5年度は1名の利用がありました。居場所として虹カフェがあることで安心され、ドリーム利用に繋がりました。

(9) 採用プロジェクト

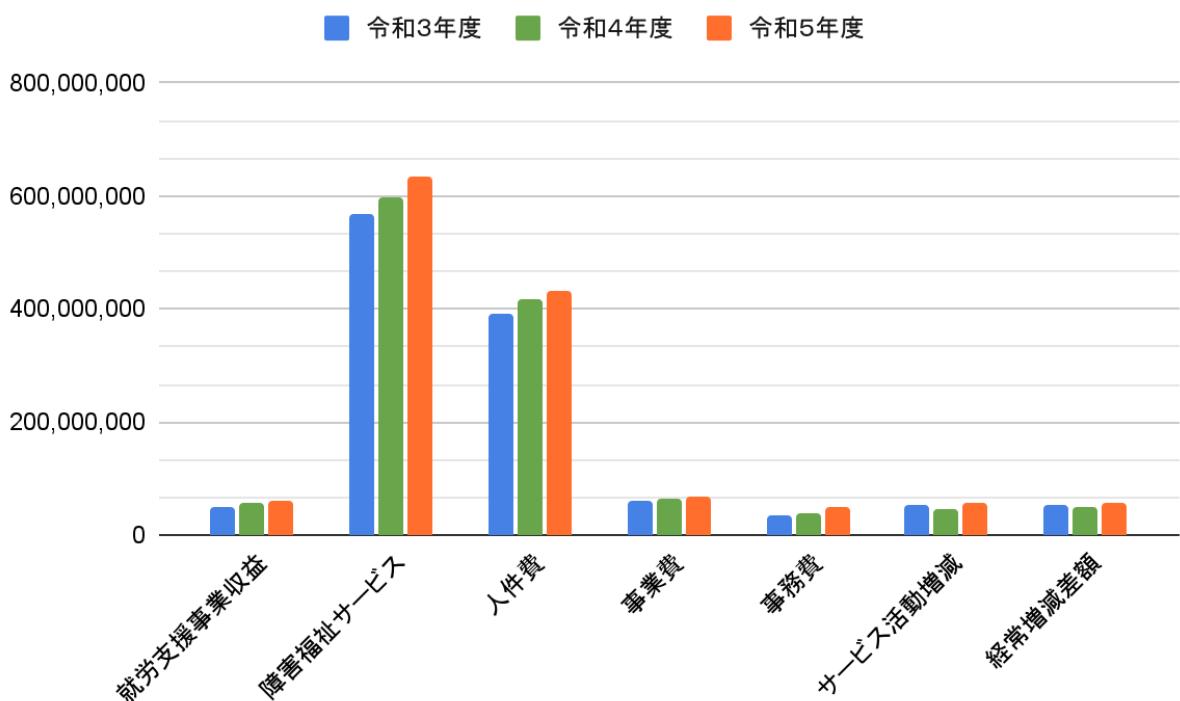
回数	目的	経過及び成果
	法人が求める「将来的に活躍できる人材を育てるための新卒採用」を目的に求人などの方法を通して応募・入社を促す。	大手求人サイトを利用した採用活動を行いました。体験希望者には現場体験を積極的に勧めました。若手職員との会話の機会などを通して虹の会の魅力を伝えることができました。結果、3名採用することができました。

◆財務ハイライト

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度

介護保険事業収益			316,905
就労支援事業収益	50,645,154	56,209,049	59,479,000
障害福祉サービス等事業収益	569,659,451	598,665,303	635,693,344
人件費	392,101,520	418,008,869	430,485,409
事業費	61,106,802	66,340,753	67,112,387
事務費	34,820,369	39,817,502	51,443,531
サービス活動増減差額	53,207,394	46,169,418	56,446,011
経常増減差額	53,660,637	48,879,317	58,417,597



◆経営分析参考指標

指標銘	算式	指標の視点	参考指標※3	令和3年度	令和4年度	令和5年度
-----	----	-------	--------	-------	-------	-------

サービス活動増減差額比率 (営業利益率)	$=(\text{サービス活動増減差額} \div \text{サービス活動収益}) \times 100$	収益性 プラスである こと	2.6%	8.6%	7.0%	8.1%
経常増減差額率 (経常利益率)	$=(\text{経常増減差額} \div \text{サービス活動収益}) \times 100$		2.82%	8.6%	7.5%	8.4%
人件費率	$=(\text{人件費} \div (\text{※1})) \times 100$		66.6%	68.7%	69.7%	67.3%
経費率		合理性 費用	24.7%	16.8%	17.7%	18.5%
	事業費率 $=(\text{事業費} \div (\text{※1})) \times 100$		14.6%	10.7%	11.1%	10.5%
	事務費率 $=(\text{事務費} \div (\text{※1})) \times 100$		10.1%	6.1%	6.6%	8.0%
	減価償却費率 $=(\text{減価償却費} + \text{国庫補助金等特別積立金取崩額(マイナス値)}) \div \text{サービス活動収益} \times 100$		6.9%	4.3%	4.1%	4.7%
流動比率	$=(\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	短期安定性 200%以上	335.9%	503.9%	437.6%	429.7%
純資産比率	$=(\text{純資産} \div \text{資産の部合計}) \times 100$	長期安定性 高いほど良い	73.2%	92.5%	91.7%	90.9%
固定長期適合率	$=(\text{固定資産} \div (\text{純資産} + \text{固定負債})) \times 100$	長期安定性 100%以下	83.1%	80.7%	81.0%	78.8%
事業活動資金収支差額率	$=(\text{事業活動資金収支差額} \div \text{事業活動収入}) \times 100$	安定性 資金繰り	7.7%	13.4%	11.9%	14.0%

※1 サービス活動収益計－就労支援事業収益

※2 経常収益＝サービス活動収益＋サービス活動外収益

※3 社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2022年度版)全国平均(WAM NET)

◆事業の開始および廃止

1. 事業の開始

(1)わになろう

指令	種別	事業所番号	有効期間

高島市	介護予防・日常生活支援総合事業	2572200760	令和5年5月1日～ 令和11年4月30日
-----	-----------------	------------	-------------------------

(2) ぱれっと

指令	種別	事業所番号	有効期間
滋賀県	放課後等デイサービス事業	2552200111	令和5年4月1日～ 令和11年3月31日

2. 事業の廃止

◎令和5年度事業の廃止はありませんでした。

◆大規模修繕等

◎令和5年度大規模修繕等はありませんでした。

◆行政監査の結果

1. わになろう(障害福祉サービス事業)

日 時: 令和5年12月13日

所轄庁: 滋賀県

種別	指示事項等
文書 指摘	【法人の管理、運営について】 ・なし 【会計、経理について】 ・なし
口頭 指摘	【法人の管理、運営について】 ・なし 【会計、経理について】 ・なし
助言 その 他	【法人の管理、運営について】 ・規定を改正する際、条項号の誤りが複数みられたので、整合を図られたい。 ・特定事業所加算算定にあたり、サービス提供責任者が、担当する従業者へ指示 している内容・適宜報告を受けている内容が書面にてわかるよう書式を変更す るように。 【会計、経理について】 ・なし

改善結果

種別	改善事項
助言 その他	【法人の管理、運営について】 ・運営委員会において確認、誤り箇所を修正しました。 ・サービス提供の指示・報告がわかるよう書式を変更しました。

2. わになろう(介護サービス事業)

日 時:令和6年2月7日

所轄庁:滋賀県

種別	指示事項等
文書 指摘	【法人の管理、運営について】 ・なし 【会計、経理について】 ・なし
口頭 指摘	【法人の管理、運営について】 ・管理者および運営規程が変更されているが、変更届が未提出となっているので提出すること。 ・重要事項説明書の説明日および契約書の契約日が契約書記載の契約期間の後日となっているので、整合するよう改めること。 【会計、経理について】 ・なし
助言 その他	【法人の管理、運営について】 ・なし 【会計、経理について】 ・なし

改善結果

種別	改善事項
口頭 指摘	【法人の管理、運営について】 ・運営委員会において、誤り箇所を修正しました。 ・重要事項説明書の説明日および契約書の契約日が契約書記載の契約期間の前日になるよう利用者へ再度説明を行い、訂正しました。

※法人に対する行政監査はありませんでした。

◆虐待および身体拘束の状況

1. 虐待の状況

※障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律に基づき、虐待認定を受けた件数は0件でした。

2. 身体拘束の状況

事業所名	件数	経過等
といろ	1件	病院受診時、診察台の上で不穏になった利用者に対し、ドクター指示のもと身体を押さえる。
ハーモニー	1件	不穏になった利用者が、近くにあった健康器具のマシーンをゆすり動かしていたため、危険回避の目的で行動制止し、その場から離れる。

※当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあり、それらについては身体拘束適正化委員会において、情報公開をしたうえでその必要性等の検討を行い、身体拘束の減少を目指して支援しています。

上記2件の身体拘束につきましても、安全確保のための行動であり、3要件に当てはまることを確認しました。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人又は他の利用者等の生命、身体、権利が危険にさらされる可能性が著しく高い
- 非代替性 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する方法がない
- 一時性 身体拘束その他の行動制限が一時的である

【虐待防止報告会】

法人内で設置された虐待防止委員会での取り組み内容について年に2回、報告会を実施しています。虹の会第三者委員3名と家族会代表者1名に参画を依頼し、利用者支援や職場環境、職員育成等に対して様々な意見や助言を受けています。

回	開催日	内容
1回	4月18日	・令和4年度下期取り組み報告 ・意見交換
2回	10月11日	・令和5年上期取り組み報告 ・意見交換

◆事故の発生状況

1. 事故発生件数

単位:(件)

事業所名	(車輌)	(怪我)	(物損)	(事務処理)	(生産活動)	合計
本部事務局	0	0	0	0	0	0
事務センター	0	0	0	5	0	5
わになろう	2	2	0	0	0	4

ひまわり生活の家	2	3	1	0	0	6
といろ	0	3	1	0	0	4
虹	0	0	0	2	0	2
コンパス・ホップ	0	0	0	1	0	1
ハーモニー	1	4	0	1	0	6
アイリス	0	4	0	0	0	4
大地	1	1	0	1	0	3
あんです	0	0	0	0	1	1
だんだん	3	1	1	0	0	5
マーブル	0	2	0	0	0	2
ぱれっと	0	0	0	0	0	0
合計	9	20	3	10	1	43

2. 事故 レベル

(1) 事業所分類

単位:(件)

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	合計
本部事務局	0	0	0	0	0	0
事務センター	3	2	0	0	0	5
わになろう	2	0	1	1	0	4
ひまわり生活の家	0	2	2	2	0	6
といろ	3	1	0	0	0	4
虹	2	0	0	0	0	2
コンパス・ホップ	1	0	0	0	0	1
ハーモニー	5	0	0	1	0	6
アイリス	3	0	0	1	0	4
大地	0	2	0	1	0	3
あんです	1	0	0	0	0	1
だんだん	0	4	0	1	0	5
マーブル	1	1	0	0	0	2
ぱれっと	0	0	0	0	0	0
合計	21	12	3	7	0	43

(2) 種別分類

単位:(件)

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	合計
車輛	2	4	0	3	0	9
怪我(利用者)	8	2	2	4	0	16
怪我(その他)	3	1	0	0	0	4
物損	0	2	1	0	0	3

事務処理	7	3	0	0	0	10
生産活動	1	0	0	0	0	1
合 計	21	12	3	7	0	43

3. 事故レベル5以上の内容

事故レベル	事業所名	内容
5	ひまわり生活の家	玄関で下駄箱から靴を取り出す際、スノコの板と板の隙間に躡き、右足小指付け根を骨折。ギブス固定となり、全治2週間程度の診断を受けました。
5	ひまわり生活の家	通所事業所から徒歩でホームへ帰宅する利用者が信号機のない横断歩道を横断中、運転手の発見が遅れ、急ブレーキをかけるが間に合わず、利用者と接触し2mほど飛ばされる。脳に異常はなかったが、左恥骨骨折・左眉挫創3針縫合・全身打撲により1ヶ月程度の治療期間と診断されました。
5	ハーモニー	歩行活動の際、ふらつきが見られたため職員が駆け寄りましたが間に合わず、近くに置いてあった机に顔を強打しました。左頬を縫合、1本の歯についても神経損傷となり処置を受けました。
5	アイリス	送迎車降車後いつもの様に自販機で飲料(お茶)を購入し、ホップの建物に沿う形で自転車小屋の前に移動中、バランスを崩して転倒する。右足股関節の人工骨骨折となり、手術・入院加療となりました。
5	わになろう	当事業所から大地へ向かう走行中、道路左側にあったポールに衝突、その反動で縁石にあたり、横転する。利用者は乗っておらず、運転していた職員は骨折し、入院・手術となりました。車輛は全損となりました。
5	大地	職員が今津方面へ利用者を送迎で送った後、湖岸道路で事業所へ戻る途中、運転ミスにより、対向車線の走行中の車輛にセンターラインを超えて正面衝突しました。双方の運転手は大きな怪我に至りませんでしたが車輛はどちらも全損となりました。
5	だんだん	事業所より利用者を自宅等へ送迎途中の交差点で、一旦停止より本線に侵入したところ、走行中の車輛があり相手車輛の左側面に接触しました。相手車輛は衝突の衝撃により大きく損傷し、全損となりました。また相手車輛の運転手については相応の通院加療期間が必要となりました。事業所の送迎車に乗車していた利用者4名は、当日通院しましたが大きなケガ等は無く、経過観察で処置等は必要はありませんでした。

※レベル説明

レベル1(インシデントレベル)

レベル2 怪我 念のため通院、物損・車輛・生産活動等 何らかの不具合を生じた

事務・生産活動 何らかの不具合が生じ、関係者・関係機関等に謝罪を要した

レベル3 怪我 通院が必要(縫合・固定処置無し)、物損・車輛 修理必要・保険処理等

事務・生産活動 何らかの不具合が生じ、関係者・関係機関等に丁寧な謝罪を要した

レベル4 怪我 全治14日以内(見込み)の縫合や固定等の処置や入院の必要等

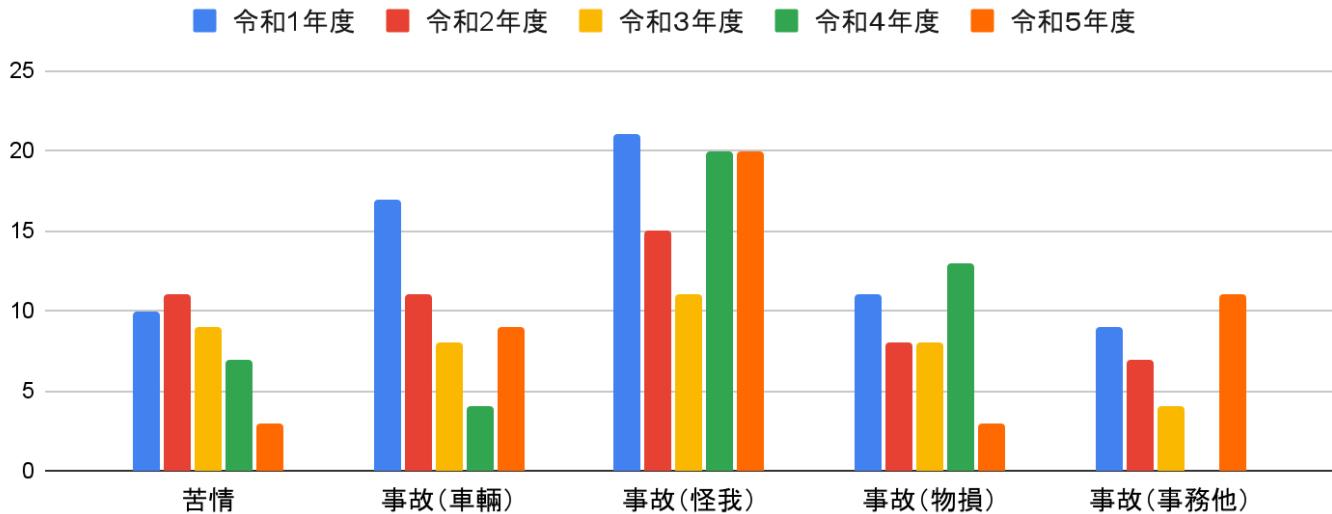
車輛・物損 相応の修理等必要、事務 苦情処理扱い等

事務・生産活動 関係機関・関係者に対して謝罪が必要かつ苦情となるもの等

レベル5 怪我 全治14日以上(見込み)の治療や固定等の処置や入院の必要

車両・物損 車両全損レベル、運転手・搭乗者の治療14日以上、故障・廃棄等
 事務・生産活動 広範囲の関係機関・関係者に対して謝罪が必要かつ苦情となるもの等
 レベル6 怪我 事故による死亡(原疾患の自然経過によるものは除く)、訴訟等
 車両・物損 事故による死亡、訴訟等
 事務・生産活動 法人・生産活動の信用失墜を招きその事故が原因で訴訟に発展

苦情・事故の推移(R1年度～)



◆苦情の発生状況

1. 苦情内容と対策

事業所	内容	対応・解決策
といろ	短期入所利用者の夕食後の薬の服用し忘れ。	夕食は他事業所で食べてから、といろを利用されるが、薬の服用場所が数回変更となり、その変更が全職員に伝わっていなかつたため、最新のマニュアルを作成し、家族と職員で共有しました。
マーブル	なぜ家族へ報告がなかったのか。	今後は些細な事でも家族に報告・連絡・相談する事を職員間で共有・確認しました。また、対策としてハード面の整備を行いました。
アイリス	利用者から嫌がらせを受けているのではないか。 女性職員不足による適切な支援が提供できていないのではないか。	本人と面談を実施し、作業環境の意向を確認後、作業内容及び作業環境を変更することとしました。職員の募集を継続しつつ、女性職員が適宜対応できるよう職員間連携を強化しました。

※令和5年度苦情発生件数 3 件

2. 第三者委員全体会および事業所訪問

虹の会が提供する福祉サービス及び苦情の対応等が適切であったか等の検証および助言を受け、意見交換等を行うため4月18日と10月11日に第三者委員全体会を開催しました。令和4年度下半期および令和5年度上半期において発生した苦情の報告と第三者委員による下半期事業所訪問での気付き等を中心に意見交換を行いました。

また、マーブルで発生した苦情において、苦情内容の報告及び助言を得る機会を2回開催し、第三者委員の立ち合いによる苦情申し出者との話し合いの場も1回開催しました。全体会でも苦情解決に向けて解決案の調整や助言を得る機会となり、解決に向けて協議を重ねた結果利用者が別の事業所へ契約変更され終結となりました。

(1) 第三者委員全体会

回	開催日	内容	出席委員
1回	4月18日	・事業所訪問活動報告 ・各事業所苦情受付の検証等 ・令和5年度上半期の取り組み事項等	3名
2回	10月11日	・事業所訪問活動報告 ・各事業所苦情受付の検証等 ・令和5年度下半期の取り組み事項等	2名

(2) 事業所訪問

- ◎令和5年3月9日(木) 太陽
- ◎令和5年3月8日(水) ハーモニー
- ◎令和5年3月8日(水) ドリーム
- ◎令和5年10月3日(火) マーブル
- ◎令和5年10月4日(水) アイリス
- ◎令和5年10月5日(木) ドリーム

◆法人研修(全体・階層別研修)

人権・個人情報保護を主軸に法人全体での研修を企画しました。

(障がい者虐待研修については今年度は事業所単位で研修を実施しています。)

キャリアパスと連動した階層別研修(内部研修および外部研修)を計画に沿って実施することができました。

開催日	研修名	講師	対象

4月～3月	新人研修(23回／全23回)	管理職／主任	新卒・既卒採用者
4月	2年目研修 5回／全5回	管理職／主任	採用2年目職員
4月・5月	3年目研修 4回／全4回	管理職／主任／マイスター	採用3年目職員
4月～9月	コンプライアンス研修(法令順守)	管理職	正職員
4月～9月	階層別外部研修(滋賀県社会福祉研修センター等)	研修センター講師等	対象者19名
6月・10月	ブラザーシスター研修2回/全2回	キャリアコンサルタント	ブラザーシスター担当職員
7月・8月	安全衛生推進者養成講習	労働基準協会講師	担当者1名
8月	ハラスメント研修(オンライン)	インソース講師	管理職／主任
8月・10月	CANVA勉強会(後日オンライン配信)※1	IT顧問	職員7名
9月	コンプライアンス研修	淡海会計事務所 桂田代表	管理職/事務職員
11月	法人全体研修	理事長/IT顧問等	全職員
1月	管理者研修	事務局長	管理職昇格者
2月	実践報告会	職員/専門職より講評	全職員
3月	安全衛生推進者養成講習	労働基準協会講師	職員1名

※1 CANVAとは、オンラインで使えるグラフィックデザインツール

◆職員の状況(令和6年3月31日現在)

1. 人員表

(1)事業所別職員数

	正職	嘱託	臨時	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
本部事務局	1		—		1		2	1	1

事務センター	3		—	2			5	2	3
わになろう	3	2	—	5			10	3	7
ひまわり生活の家	3		—	9		1	13	4	9
といろ	4	3	—	4	1		12	4	8
虹	1	2	—	1			4	1	3
コンパス(ホップ)	7	4	—	3			14	7	7
ハーモニー	9	2	—	8	1	1	21	6	15
アイリス	4	1	—	4			9	7	2
大地	4	3	—	3			10	5	5
あんです	2	1	—	6	2		11	1	10
だんだん	5	4	—	3			12	6	6
マーブル	3	1	—	2	1		7	4	3
ぱれっと	2	1	—				3	1	2
計	51	24	—	50	6	2	133	52	81

(2)職員数の推移

	正職	嘱託	臨時	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
令和3年度	45	12	11	57	3	2	130	39	91
令和4年度	48	13	9	56	5	3	134	49	85
令和5年度	51	24	—	50	6	2	133	52	81

2. 障害者雇用率

- ◎令和3年度 3.24 % 3名
- ◎令和4年度 3.08 % 3名
- ◎令和5年度 2.90 % 3名

3. 職員の状況

(1)職員の状況推移

	正職員		非正職員	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
職員比率	37.5% (48/128人)	40.5% (51/126人)	62.5% (80/128人)	59.5% (75/126人)
平均勤続年数	10年4ヶ月	10年4ヶ月	6年6ヶ月	6年9ヶ月
平均年齢	41.93歳	41.35歳	56.1歳	55.34歳

※アルバイト6名、宿直職員(短時間)1名除く

(2)時間外勤務の状況

	正職員	非正職員
令和3年度月平均時間外勤務	6.2時間	0.7時間
令和4年度月平均時間外勤務	4.9時間	1時間
令和5年度月平均時間外勤務	4.9時間	1.3時間

(3)有休取得の状況

	正職員	非正職員
令和3年度平均取得率	75.4%	90.8%
令和4年度平均取得率	83.5%	80.6%
令和5年度平均取得率	79.9%	86.1%

※年度付与数に対する取得率(最大20日付与)

(5)新卒採用活動の状況(採用プロジェクトの活動含む)

2023年3月から採用活動をスタートしました。昨年度に引き続きキャリアコンサルタントと連携し2024年卒の採用活動を実施しました。3つの採用サイト・ハローワークでの募集と高島市内開催の合同説明会に参加しました。

当法人に興味を示した学生のニーズに沿った形で法人説明会・見学・実習を積極的に行った結果、3名採用することができました。

下半期は、2024年卒採用と2025卒インターンシップと実習受入れを行い5名受入れました。そのほかにも高校の職場体験2名の受入れをしました。

また、次年度より採用担当者による採用活動を展開することを見据えた担当者育成のための勉強会やキャリアコンサルタントの連携を実践方式で確認するなどの準備を進めました。

虹の会HPに2週に1回の頻度で職員の様子を中心としたInstagramの掲載などの情報発信を実施しました。

	採用者数
令和元年度卒	3名
令和2年度卒	1名
令和3年度卒	3名
令和4年度卒	3名
令和5年度卒	3名

※新規採用者の定着率92.3%(令和元年度～令和4年度卒)

(6)職員アンケート

法人では、第2期中期経営計画(2021-2023)の8つの重点項目の内の一つ「魅力ある職場づくり」で「アンケート調査による実態把握・改善の取組」を行う事としています。職員の職場環境・業務等に対する現在の「思い」を把握し、職場環境等の改善に役立てました。

※別紙アンケート結果参照

◆事業所の状況(令和6年3月31日現在)

1. 事業所の状況(1)

事業所名	年度	定員 (名)	契約者数 (名)	平均年齢 (歳)	平均区分	平均稼働率 (%)

ひまわり 生活の家 (共同生活援助 介護サービス包括型)	令和3年	32	24	46.7	3.1	69.8
	令和4年	30	24	47.7	3.1	72
	令和5年	30	26	48	3	73.8
といろ (共同生活援助 日中サービス包括型)	令和3年	10	10	57.5	4.7	98.4
	令和4年	10	10	58.7	5	98.2
	令和5年	10	10	59.5	5	98.5
といろ (短期入所)	令和3年	2	25	32.8	5	56.5
	令和4年	2	35	31.7	4.9	56.1
	令和5年	2	41	36.7	4.5	76.6
ハーモニー (生活介護)	令和3年	20	25	42.9	5.4	98.5
	令和4年	20	24	44.4	5.3	96.3
	令和5年	20	26	45.7	5.4	99.9
アイリス (就労継続支援B型)	令和3年	34	33	41.57	—	86.1
	令和4年	34	32	43	—	84.3
	令和5年	34	34	43.4	—	82.7
大地 (生活介護)	令和3年	20	26	40.73	3.8	117.4
	令和4年	20	26	42.25	4.1	116.1
	令和5年	20	26	42.9	4.1	117.1
ドリーム あんです (就労継続支援B型)	令和3年	20	19	42.4	—	79
	令和4年	20	19	43.4	—	74.1
	令和5年	20	20	44.7	—	76.1
ドリーム だんだん (生活介護)	令和3年	28	37	45.7	4.2	102.9
	令和4年	28	36	45.5	4.3	101.9
	令和5年	28	37	42.9	4.4	100.5
マーブル (就労継続支援B型)	令和3年	20	16	45.0	—	65.4
	令和4年	20	16	45.11	—	64.2
	令和5年	20	16	46.9	—	58.3

ぱれっと (放課後等 デイサービス)	令和5年	10	5	10.8	—	23.3
--------------------------	------	----	---	------	---	------

事業所の状況(2)

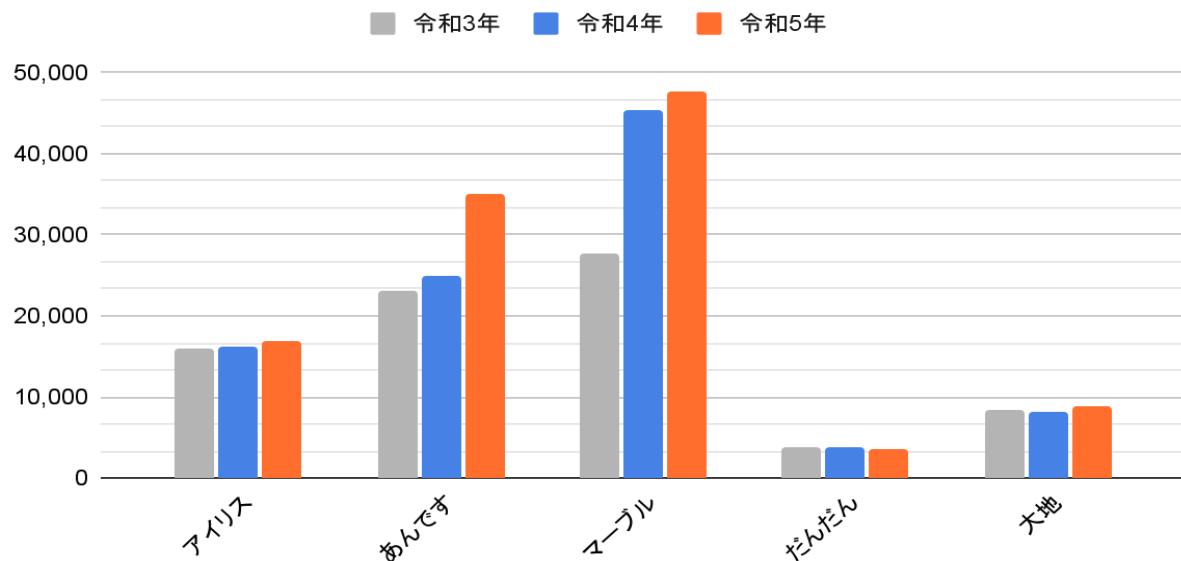
事業所名	事業種別	契約者数 (名)
わになろう	居宅介護 行動援護 重度訪問介護 訪問介護事業(共生型) 地域活動支援センター 移動支援 日中一時支援 24時間対応型利用制度支援(セーフティーネット) 福祉有償運送	30 43 0 3 33 45 14 — 195
計画相談支援センター虹	計画相談支援 (サービス利用支援・継続サービス利用支援) 障害児相談支援 (障害児支援利用援助・継続障害児支援利用援助)自立生活援助	210 1 0

2. 受託事業

高島市障がい者 相談支援センター コンパス	県委託	障害児(者)地域生活ネットワーク支援事業
		滋賀県精神障害者相談支援体制整備事業
		滋賀県認証発達障害者ケアマネジメント支援事業
就労準備支援 ホップ	市委託	高島市相談支援事業
		高島市24時間対応型利用制度支援(相談支援機能強化職員設置)事業
		高島市発達障がい者支援チーム事業
	市委託	生活困窮者等就労準備支援事業
	市委託	参加支援事業
	市委託	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

3. 就労支援事業の状況

事業所名	年度	契約者数 (名)	就労支援事業収入 (年／円)	平均工賃 (月／円)
アイリス (就労継続支援B型)	令和3年	33	10,040,139	15,980
	令和4年	32	9,739,965	16,105
	令和5年	33	10,299,797	16,961
ドリーム あんです (就労継続支援B型)	令和3年	19	31,646,797	23,093
	令和4年	19	34,624,987	25,017
	令和5年	20	36,062,114	35,122
マーブル (就労継続支援B型)	令和3年	16	5,483,682	27,634
	令和4年	16	9,427,278	45,371
	令和5年	17	10,828,503	47,607
ドリーム だんだん (生活介護)	令和3年	37	2,316,458	3,757
	令和4年	36	2,211,297	3,773
	令和5年	36	2,140,012	3,602
大地 (生活介護)	令和3年	26	4,451,866	8,366
	令和4年	26	4,384,590	8,095
	令和5年	26	3,715,120	8,915



◆地域における公益的な取組の状況

1. 地域における公益的な取組

地域における公益的な取組事業	実施内容
はたらく体験	実人数は11名、延べ実施回数は196回。ひきこもりの人の社会参加支援という観点から効果は大きいと考えています。今年度の体験メニュー(主なもの)は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・事務作業(印刷・資料組み等)・生活支援(庭の草引き、不用品の整理、室内片付け等)・食洗作業(ミズカフェコッコ内厨房)・フードバンクの食品仕分け作業・高島市内の端材を有効活用した玩具の加工作業(積み木)
虹カフェ	南拠点では、平日9:00～17:00、通年で運営しました。実人数は65名、延べ利用者数は516名でした。「自分の得意こと、好きなことなら話せる」という当事者の声から始まったテーマ型の居場所は好評で、今年度は7つのテーマで開催することができました。北部拠点としてドリームに「虹カフェ」を設置し、今年度は1名の利用がありました。

2. 話題提供および視察研修の受け入れ状況

◎令和5年5月26日 新旭民生委員児童委員協議会 事業所訪問見学受け入れ

ハーモニー、アイリス、といろ

◎令和5年5月29日 厚生労働省からの視察研修にて、ふれホップの取り組み説明

◎令和5年7月27日 愛知県長久手市からの視察研修にて、ふれホップの取り組み説明

◎令和5年11月21日 三重県亀山市からの視察研修にて、ふれホップの取り組み説明

◎令和5年12月18日 滋賀県甲賀市からの視察研修にて、ふれホップの取り組み説明

◎令和6年2月5日 草津市障害者虐待防止研修 講義

テーマ「虐待発生の原因と予防」～虐待防止委員会とマネージャーの役割(運用と実践)～

◆各事業部からの報告(別紙)

○本部事務局

○事務センター

○第1事業部

(アイリス、マーブル、大地)

○第2事業部

(ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん)

○第3事業部

(ハーモニー、わになろう、ぱれっと)

○第4事業部

(ひまわり生活の家、といろ、計画相談支援センター虹)

○第5事業部

(高島市障がい者相談支援センターコンパス、就労準備支援ホップ)

令和5年度事業報告書



〒520-1521 滋賀県高島市新旭町北畠45番地
電話 0740(25)8220 FAX 0740(25)8221
ホームページ <http://www.shiganijinokai.net>
メールアドレス info@shiganijinokai.net